

お子さんが 家庭での自分のあり方をみつめる機会に

生活科『じぶんでできるよ』の学習では、児童が家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどを見付け、自分の役割を積極的に果たすことができるようにすることなどを目標としています。

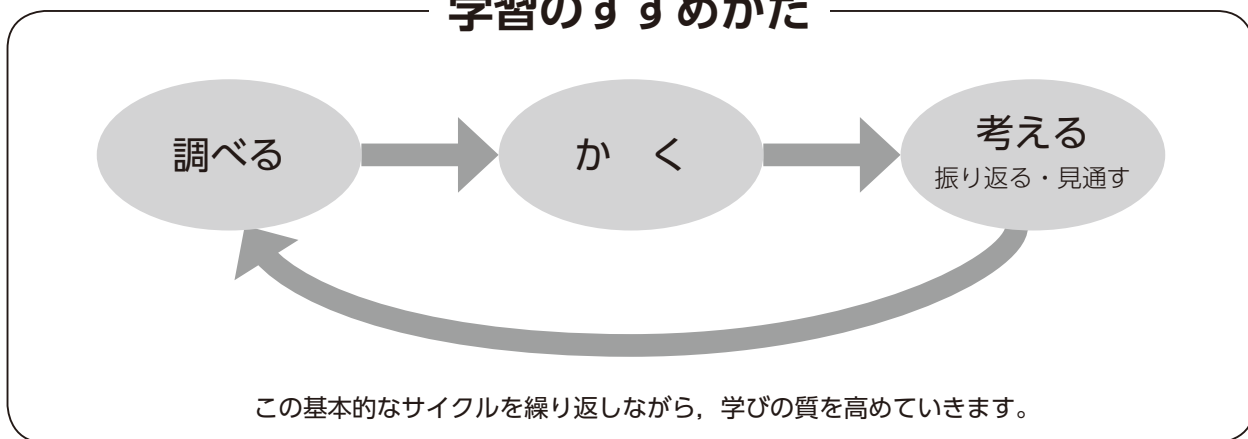


□自分にはじまり自分にかえる学習です

ふだんなにげなく過ごしている家庭生活。そこで自分が毎日していることについて振り返るところから学習はスタートします。

自分が毎日していることへの気付きから、家族が毎日していることへと児童の関心が広がります。自分と家族の比較などを通して児童は新たな気付きに至り、自分なりの考えをもって家庭で自分の役割を果たしていこうとする、“自分ごととしての学び”です。

学習のすすめかた



□ご家庭でも児童の主体的な学びを支えて

生活科は、児童が自ら問いを発し、体験を通して気付き、学び続けていくことを大切にしています。

尊重する

お子さんがかいた内容は、おうちの人からみると実際と違うこともあるかもしれません。「違うよ」と指摘したり「こうしなさい」と指示したりすることなく、「なるほど」「そうだったんだね」と言葉をかけ、お子さんの視点を大切にあげましょう。

共感する

お子さんから発せられる気付きは、『そんなの当たり前』と思えたり、『そこまで気付いたの』と驚いたりすることがあるかもしれません。お子さんなりのものの見方・考え方への言葉かけは、学びの質を左右します。「なるほど」「よく分かったね」など、お子さんなりの気付きに共感し、ほめてあげましょう。